



民主党

福岡市議会議員

◀ 議場での質問風景

今日も! 田中しんすけの 胸を張って、元気よく!!

◆ 福岡市政ドキュメント ◆ 第8号 2009年 春 号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ

(民主・市民クラブ)

〒810-0014 福岡市中央区平尾2-15-20 2F

TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221

URL: <http://www.tanakashinsuke.jp>

E-mail: info@tanakashinsuke.jp

平成21年度
予算議会

会派を代表し、議会質問に臨みました!!

2009年3月6日(金)、民主・市民クラブを代表し、補足質疑を行いました。今回は主に、「教育行政」、「商店街の活性化」、「福岡のまちづくり」について質問しました。

不登校ひきこもり対策

【質問】 平成20年度に設置された「不登校ひきこもり対策支援会議」において、不登校児童生徒が増える原因とその対策はどのように報告されているか?

【答弁】 中学1年生に対するきめ細かな指導が必要であるという点から、中学1年生に対する少人数学級導入や、専任の不登校対応教員の配置を実施する。

【質問】 対策支援会議の報告書をもとに次年度から本格的に不登校対策に取り組まれるとのことだが、不登校児童生徒減少に向けた市長の決意を伺う。

【答弁】 報告書では、不登校の要因が明らかにされ、効果的な対策が示されている。その提案を踏まえ「不登校ゼロ」という理想を実現するために中学校1年生への少人数学級の導入をはじめ、あらゆる不登校対策を実行していきたい。

特別支援教育の拡充

【質問】 特別支援教育支援員を導入して1年が経過するが、どのような成果が報告されているか?

【答弁】 学習面・生活面ともに、児童生徒の状態の改善が図られたという回答が100%で学習への集中度や参加意欲が高まったという報告を受けている。

【質問】 特別支援教育支援員は現在2ヶ月間しか任用されない臨時職員だが、1年間任用できる嘱託員として配置することを検討できないか?

【答弁】 現在の任用方法のメリットとして、配置した支援員が児童生徒の個性に合わない場合は機動的に他の支援員と交代できるという点もある。また、学校において支援員と教員との連携を図りながら充実させていくという視点も重要である。これらの点も踏まえ、今後ともより良い配置の在り方を検討していく。

非正規教員の処遇

【質問】 若手の非正規教員は、現状の教員採用試験では、筆記試験の受験勉強に相当な時間を割かなければならないため、子どもたちと向き合う時間が十分に確保できないだけでなく不安定な身分で子ども達に向き合わなければならないという心理的な負担も大きい。非正規教員については、蓄積された技術や経験を重視して、筆記試験について極力負担のない教員採用試験制度にするなど、講師が正規採用への見通しを描きやすくなるよう検討してはどうか?

【答弁】 現在でも、筆記試験の一部免除や特別選考を実施するとともに、第2次試験においてはより人物重視の試験となるよう面接試験・模擬授業の充実を図っているが、今後とも、教員採用試験全般について充実を図り、高い資質と実践力をもった、優れた人材の確保に努める。

商店街の活性化

【質問】 地域経済の担い手でもある「商店街」を支援することは重要だと考えるが、そもそも本市の商店街を支援する根拠や考え方はどうなっているのか?

【答弁】 商店街は、住民の暮らしを支える「買い物の場」を提供する地域経済の担い手であるとともに、地域の交流やにぎわいの場を提供する「地域コミュニティの担い手」として、地域の活力を支える重要なものと認識している。

【質問】 来年度の新たな商店街支援の取組みについて尋ねる。

【答弁】 平成21年度は新たに「商店街活力アップカルテ」の作成と、「商店街の空き店舗再生」の2本柱からなる「商店街にぎわい再生プロジェクト事業」を実施し、商店街のにぎわいづくりを支援していきたい。

【要望】 地域がどのようなまちづくりを目指すべきか、その材料を地域商店街に与えるという意味では、「商店街カルテ」を利用した「商店街再生プロジェクト事業」は評価できる。今後は商店街カルテに記載する内容について結めの作業が行われると思うが、その際、商店街を地域拠点と位置付け、エリアマネジメントの視点から、より広範囲のまちづくりの在り方を示唆するような充実したカルテになるよう工夫されたい。

福岡のまちづくり

【質問】 来年度に予定されている都市計画マスタープランの見直しについて、環境や市民参加と親和性の高い「コンパクトシティ」という概念を盛り込むことで、本市が目指すまちづくりの方向性を一層鮮明にできると考える。市民に対しても、自分たちが住む福岡市の将来のまちの姿はどのようなものか、すなわち、福岡市の「目指すべき都市像」を提示し、伝えることは、都市の経営者の責務であると考えているが、所見を伺う。

【答弁】 都市計画マスタープランの見直しにおいては、今回は新たに「環境負荷の少ない都市づくり」という視点を重視して検討していく。具体的には、環境に優しい公共交通機関を中心とした交通体系の充実、交通利便性が高い地域への住宅、業務、商業機能の誘導など、グランドデザインにある「コンパクトな環境共生都市づくり」を実現できるような取り組みを検討している。

【要望】 吉田市長は、本議会の答弁の中で、「思いが伝わる」市政を目指すことを強調されている。今回の都市計画マスタープランの見直しにおいては、この都市計画マスタープランを「目指すべき都市像」を市民に伝えるツールとして認識し、今後の福岡市という都市の在り方を、市民に分かりやすい形で明確に打ち出していだくよう強く要望しておく。



暮らし重視の公約達成! 吉田市長の選挙公約を評価

吉田市長が「暮らし重視の福岡市政」を実現するべく福岡市長に就任して2年が経過しました。そこで、市民の皆さんの注目度の高かった、吉田市長のおもな選挙公約の達成状況を報告します!

市長公約	公約の内容	進捗状況
乳幼児医療費の無料化	未就学乳幼児の医療費の自己負担分を一斉に無料にする。その後も、小学校低学年まで摘要されるよう、段階的に引き上げる。	従来は3歳児まで無料だったものを、平成19年度に小学校就学前まで拡大。 
少人数学級の拡大	35人以下学級の実現を目指す。 	35人以下学級を、小学校3年生まで拡大。さらに、「中1ギャップ」の解消のため、平成21年度より中学校1年生への35人以下学級(選択制)を導入予定。
留守家庭子ども会利用料の無料化	有料化が始まった留守家庭子ども会事業を無料に戻し、延長保育を午後7時まで拡充する。また、日曜保育の導入を目指して検討する。	平成19年および平成20年予算議会において2度、無料化の議案を提出するも、議会の反対多数で否決。なお、延長保育は平成20年9月より実施。 
障害者自立支援法施行に伴う市独自軽減策の実施	障がいのある人の自立を支援するため、市の独自軽減策を継続する。	現在も市の独自軽減策を継続中。
市立学校施設の耐震化	学校耐震化の推進(目標年限4年)	学校施設の耐震化を前倒しで実施することを表明。平成23年度完了予定。 
芝生広場の整備	各区に最低2つ、「芝生が敷かれ自由に遊べる公園」を整備する。	すでに整備済みの芝生広場(アイランドシティ中央公園など4公園)について、良好な維持管理を実施。さらに、芝生が消滅した公園(東平尾公園など8公園)や新たに芝生化する公園(大井中央公園など2公園)について、平成20年度までに芝生広場を再生、新規整備完了予定。
アイランドシティ事業の検証・検討	アイランドシティについては、市民の財産となるよう大胆に見直し、現実的解決を図るとともに、すべての土地を有効利用するための道筋をつける。	アイランドシティ検証・検討チームを発足させ、経済的合理性の観点から従来の事業内容を検証。その中で、基本的コンセプトを提示したうえで、土地利用区分を変更、企業立地促進のための交付金も設立。
市立病院統合移転事業の検証・検討	こども病院の人工島への移転計画を、福岡市全体の医療行政の視点から見直す。	小児医療水準を維持するとともに周産期医療を加えて、こども病院の機能を拡大充実し、移転後の医療空白を解消することを前提にアイランドシティへの移転整備を決定。

次年度予算
ココがポイント!

(10,360千円)

商店街にぎわい再生プロジェクト

地域経済の担い手である商店街の活力アップや、まちづくりを目的として、空き店舗の情報を中心とした商店街の現状を調査するとともに、空き店舗を積極的に解消してにぎわいづくりを支援します。

- その1 商店街空き店舗再生事業**
商店街に空き店舗再生協議会を設置し、商店街や店舗の持ち主と協力して積極的に空き店舗を解消します!
- その2 商店街活力アップカルテ事業**
今後の活性化策を検討する上で必要となる基礎データを収集し、商店街の活性化やまちづくりの材料にします!(データは各商店街にも提供されます)
- その3 商店街活力アップ支援事業の充実(増額)**
商店街が独自に企画した事業に対する助成金を大幅に増額します!



頑張る商店街を応援します!!

田中しんすけ市政相談所 (民主・市民クラブ中央区事務所)



お気軽に
ご相談下さい!



田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(30歳)

1991年	西富宮小学校	卒業	2004年	早稲田大学大学院	
1994年	西南学院中学校	卒業		政治学研究科修士課程	修了
1997年	筑紫丘高等学校	卒業	同年	アクセンチュア株式会社	入社
2001年	九州大学法学部	卒業	2007年	福岡市議会議員(1期)	

3月
予算議会
報告

「新空港は必要ない」 吉田市長、公約を貫徹す!!

民主・市民クラブは、3月3日の平成21年度予算議会で、吉田宏福岡市長に「新空港は必要ない」とした選挙公約を順守するように強く求めました。

都心に近接し日本一利便性が高いといわれる現空港の利点は、福岡市成長の源泉である、と新空港建設の反対を訴えたもので、市民意見を十分に踏まえ慎重に判断するように指摘したところです。これに対して、吉田市長は3月23日の特別委総会で答弁し、自らの公約を貫く姿勢を示しました。

これまで、吉田市長は国、県主導による新空港建設の可能性を探る調査の過程にあってその動向を静観してきましたが、調査もひと段落した現在、新空港建設の是非が迫られていました。

私たちは、現空港の極めて大きい利便性や現下の厳しい経済状況を考慮すれば新空港建設は現実的でないと考えます。



予算議会で答弁する吉田市長(3月3日)

▼平成21年度予算で 民主・市民クラブの 重点政策が前進!!

民主・市民クラブは、3月3日の平成21年度予算議会で代表質問し、「暮らし重視の市政」を進めるために3つの重点政策に着手するように求めました。これに吉田市長は積極的に取り組む姿勢を示しました。

重点政策1 こども

コミュニティ支援と連携した全児童対策の推進

- ①放課後等の遊び場づくり事業の拡大
(モデル校7校から14校へ拡大)
- ②留守家庭こども会事業の充実
(施設の整備、4年生を長期休業中に受け入れ)
- ③子どもプラザ事業の拡大(7ヶ所から14ヶ所へ)



重点政策2 環境

市民植樹運動及び屋上緑化、壁面緑化の推進

- ①140万市民植樹運動・緑化事業の推進
(屋上緑化等民有地の緑化に助成と公共公益施設の緑化)
- ②公園再整備事業の推進
(身近な公園を、今後10年間で150ヶ所程度を再整備)
- ③ヒートアイランド対策
(市役所西側広場に保水性人工芝)



重点政策3 緊急対策

地場中小企対策の推進

- ①福岡市緊急経済対策本部を設置
(商工金融融資の新規貸付枠の大幅拡大や
商店街のにぎわいづくりの支援)

民主などの 肝炎対策!

国内のB型・C型肝炎患者は、推定35とされ国内最大の隠れて抜本的な対策が求められます。

しかし、平成20年スタートした、国の「新し合対策」(7ヶ年計画)裏付けがない予算措抜本的対策とは到底ではありません。

本年、民主・市民クにおいて薬害肝炎全団の皆さんから肝炎ました。

民主・市民クラブ意見書を各会派と共

福岡市の成長へ向け強い決意を引き出す!!

提案で可決!

ラブ控室



対策基本法の早期制定を訴える山口美智子さんら
薬害肝炎全国原告団、患者団体の皆さん(3月12日、民主議員控室)

3月議会で国に対し「肝炎対策基本法(仮称)」の早期制定を求める
 提案し、可決されました。

玉井 輝大
(早良区)

A 多様な主体と連携し潤いのある水べのまちづくりに取り組んでいく。

田中しんすけ
(中央区)

A (市長答弁) 不登校対策の報告書では、不登校の要因が明らかにされ、効果的な対策が示されている。その提案を踏まえ、「不登校ゼロ」という理想を実現するために、中学校1年生への少人数学級の導入をはじめ、あらゆる不登校対策を実行していきたい。

阿部 正剛
(東区)

A 東区の現状などを十分考慮しながら、行政サービス機能も含め検討する。

田中丈太郎
(博多区)

A 経済状況が厳しい中、収入が低く生活が困窮している父子家庭があることは理解している。母子家庭と同じように、市で出来ることを模索するとともに、児童扶養手当に関しては、引き続き国への要請を行っていく。

三原修
(南区)

A 質問された問題点はこれから検討していくが、今の段階では、最善の方法であると考えている。